

井の口まちづくり会通信

井の口まちづくり会 設立・平成20年3月23日
 発行 令和2年7月1日 第25号通信
 責任者 孝夫 (井の口まちづくり会会長)
 事務局長 名和 利夫 058-264-2760
 通信作成 馬場わかよ 058-263-0097
 bwakayyo@sf.commuifa.jp

緊急事態宣言発令により定期総会を中止

令和2年度定期総会未開催に関するお詫びとご報告
 社会情勢から令和2年度の定期総会を開催することができませんでした。議題となる事業報告、会計報告につきましては裏面に掲載させていただきますので、ご覧ください。
 役員改選は総会議決事項ではありますが、今回保留する旨役員会で承認されました。ご理解賜りますようお願いいたします。

平成30年度からの引き継ぎとなる役員

特別顧問	堀 達夫	幹事	安藤 幸延	岩佐 純一
顧問	杉山 秀子		片岡 雅子	加野 直巳
相談役	松原 和生		川島 和恵	明 久子
	高橋 かずえ		小林 教子	憲和 彦
会長	小林 孝夫		武井 英男	
副会長	堀 智仙		馬場わかよ	
事務局次長	名和 利夫			
会計次長	片岡 学史			
会計監査	後藤 範彦			
	杉山 壽夫			
	篠田 純夫			

「まちの文化的建造物」顕彰事業を1回休止します
 平成26年度から実施してきました顕彰事業は、現在までに、井の口地区の30軒の建物について顕彰をさせていただきました。
 今回、顕彰事業を担当するまちの風景検討部会において、当事業の在り方等を協議、見直しを進めていましてがコロナ禍により中断となり、今後の当事業の方針につきましては、改めて提案させていただきます。

新型コロナへの対応とまちづくり会活動の絆
 井の口まちづくり会 会長 小林 孝夫
 意想外の展開を見せつけている新型コロナ。人類の敵として令和の歴史に深く刻み込まれることは間違いないと思います。ここ数カ月はまさに時が止まってしまっただようです。井の口まちづくり会の活動も抑え込まれてしまいました。4月に予定した定期総会をはじめ、地区内自治会長会議、七タコンサート、その他事業が既に見送られております。
 この間、会員の皆さまへのご案内、ご報告が滞り、大変迷惑をおかけしたことにお詫び申し上げます。併せて、この井の口まちづくり会通信に総会議案を掲載し、発せられた土岐氏、斎藤家、織田家の持ち越しとなりました。しかし、全国に発せられた土岐氏、斎藤家、織田家の誇りに感じ、常にこれを大切にしたり取り組みを継続していかねばならぬと考えます。
 国は「新しい生活様式」を提唱しました。活動に支障をきたす一面もありますが止むを得ません。井の口まちづくり会の活動方式もこれに呼応し、当努力してまいりたいと思っております。今後ともご理解とご協力をお願い申し上げます。



井の口まちづくり会の活動が金華まちづくり協議会のHPに掲載されました。事業の案内はこれまでの「井の口まちづくり会通信」ボスター、町内回覧のほかこのHPにも掲載させていただきます。お問い合わせください。
 金華まちづくり協議会HP 検索

大仏様への年賀状 過去最高！

井の口まちづくり会が発足した2年目より始めた「大仏様への年賀状」事業も節目の10回目を迎えました。出展を毎年お願いしている岐阜小学校の生徒さんや絵手紙クループの皆さんからもたくさんだけ、また、通常の投函箱設置3か所に加え、本年はJR岐阜駅・アテイング2階ふれあい広場にも設置がいたされたことにより、過去最高の380点あまりの出展枚数を記録しました。
 1月10日から12日まで3日間開催された画廊光秀堂での年賀状展への来場者も過去最高人数で、この催しをアト部会のメイン行事の一つとして、これからも続けていきたいです。
 (伊藤逸夫)



所狭しと並べられた出展年賀状作品(一部)

井の口寄席に大賞受賞者出演

2月23日(日)、梶川町の妙照寺本堂にて11回目となる恒例の「井の口寄席」を開催しました。今回より岐阜大学落語研究会に協力をお願いし、出演者の選考、交渉もお願いしました。結果栄えある「築伝大賞」に輝いたぶりん亭芽りんさんや、岐大落語部部長の迷探亭ホトメズさんらが出演。7人7様の熱演に、来場の皆さまも笑顔と拍手が沸いて学生落語を堪能いただけました。
 中入りに婦人会有志づくりの具だくさんで温かい豚汁をいただき、会場の皆さんに大好評でした。開催に当たり多くのご協力心よりお礼申し上げます。
 (岩佐純一)



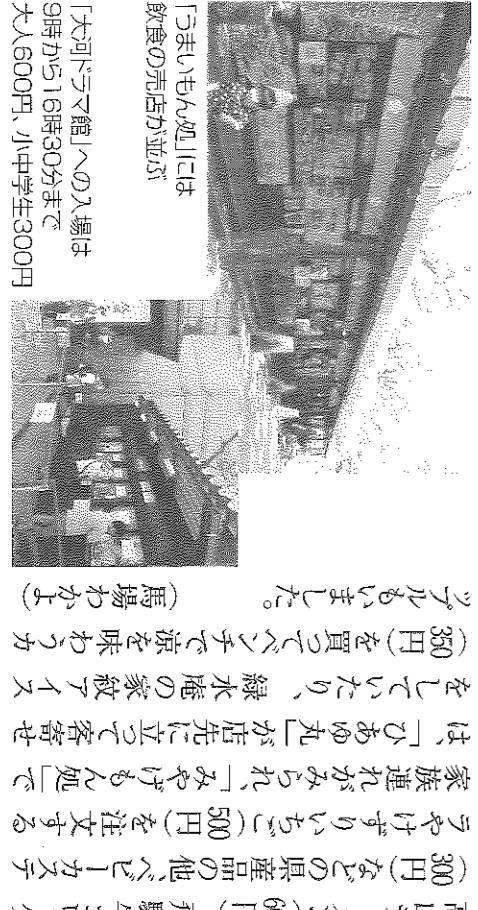
手づくりの温かい豚汁に心もお腹も和みました



右が英語落語で「築伝大賞」を受賞した芽りんさん

まちなかお宝アト発見 麒麟がくる！光秀横町

令和2年の大河ドラマ「麒麟がくる」の放送に合わせ、岐阜市は、主人公の明智光秀をはじめ、戦国武将の斎藤道三、織田信長にもスポットが当たり、その舞台となった岐阜公園を稲葉山ゾーンと称して三武将のエリアに分け、ななど趣向をこらして準備しました。
 なかでも、歴史博物館周辺を光秀エリアとし、来年1月1日までの期間限定で飲食店や土産品販売所、観光案内所の「光秀横町」を開設し、「大河ドラマ」は好評にスタート。三武将に注目が集まるなか、残念ながら新型コロナウイルス感染症拡大により4月6日から5月21日まで休止することとなり、新しい生活様式のもと、やと少しずつ賑わいが戻ってきたところです。
 6月7日(日)の午後は、真夏日にもかかわらず入場制限のかかったドラッグの前には行列ができていました。
 飲食エリアの「うまいもん処」では、高山ラーメン(600円)、飛騨牛コロッケ(300円)などの県産品の他ベイクスターやけやずりいちご(500円)を注文する家族連れがみられ、「みやげもん処」では「ひあゆ丸」が店先に立ち客寄せをしていたり、緑水庵の家紋アイス(300円)を買ってベイクで涼を味わう方もいました。
 (馬場わかよ)



「うまいもん処」には飲食の売店が並び

「大河ドラマ」への入場は9時から16時30分まで 大人600円、小中学生300円

井の口まちづくり会・令和2年度定期総会に替えて

令和2年度 事業活動計画案

新型コロナウイルス感染症への警戒により、前期(4月～10月)の事業はすべて中止させていただきます。また、本年は、ビデオ視察研修の実施年度でしたが、来年へと延期させていただくことになりました。どうぞ、ご了承ください。

- ・「まちなかお月見アート」 11月1日(日) 「年賀状展」 1月下旬
- ・「大仏様への年賀状」募集 12月下旬～
- ・「井の口番席」 令和3年2月中旬(築伝大賞の夜)
- ・「井の口まちづくり会通信」第25号(7月1日発行) 第26号(10月予定)

平成31年(令和元年)度 収支決算報告

収入の部			
項目	31年度予算	31年度決算額	増減額
前年度繰越金	13,696	13,696	0
会費	200,000	192,000	▲8,000
助成金	80,000	30,000	▲50,000
イベント参加費	25,000	16,500	▲8,500
備品貸付け費	2,000	24,500	▲24,500
利息	2,000	2,000	0
合計	320,698	278,696	▲42,002

支出の部

項目	31年度予算	31年度決算額	増減額	備考
部会活動費	78,400	95,368	16,968	講師謝礼、材料費等
広報費	64,800	33,000	▲31,800	まちづくり会通信(1回)
会議費	12,000	24,557	12,557	役員会・部会等
総会費	8,000	0	▲8,000	定期総会中止
顕彰札作成費	30,000	0	▲30,000	顕彰事業1回休止
協賛費	10,000	10,000	0	大仏フェスティバル
消耗品費	5,000	5,000	0	長良川おんばく
印刷費	30,000	41,351	11,351	用紙代、インク代等
通信郵送料	0	2,470	▲2,470	コピー印刷費
小計	16,000	11,204	▲4,796	
	254,200	222,950	▲31,250	
次年度繰越金	66,498	55,746	▲10,752	
合計	320,698	278,696	▲42,002	

(会計監査報告)

平成31年度井の口まちづくり会の会計について、関係書類、現金通帳等を監査したところ、収入及び支出いずれも適正に処理されていることを報告します。

令和2年5月30日

会計監査 杉山 茂寿
会計監査 篠田 斎夫

会費納入のお願い!! (会費で活動運営がされています)

通常は年会費を定期総会の受付にて納付いただきましたが、本年は会計後藤勝利(山口町)までお届けいただきましたか、役員らが徴収に伺います。
*大宮町1、2丁目(加野) *木挽町(岩佐) *山口町、益屋町(後藤)
*上茶屋町、下茶屋町、今町1、2丁目(伊藤) *松下町、松ヶ枝町北(名和) *松山町、夕陽ヶ丘、夕陽ヶ丘アパート(林) *松ヶ枝町南(高橋)
*今町3、4丁目、大仏町(小林) *堀川町(堀) *井の口地区外の金華地区内会員、金華地区外の会員は後藤まで納金をお願いします。

平成31年(令和元年)度 事業活動報告

○4月29日(祝月)「平成31年度 定期総会」
来賓に岐阜市副市長の檜橋康英様を迎え総会を開催。同時に、平成31年度の「まちの文化的建造物」3邸を顕彰させていただきました。特別講演には、岐阜大学准教授の出村嘉史様から「近代岐阜の完成は、忠節用水だった」と題した講演をいただきました。

○6月1日(土)「井の口地区自治会長会議」
正法寺庫裡にて、地区19町内の11町の自治会長様へ出席をいただき、当会役員からはまちづくり会活動へのご理解とご協力をお願いし、皆さまからのご提案などをいただきました。

(広報通信作成部会)

○7月7日(日)「第9回まちなか七夕コンサート」
金華山の夜景が映える般若寺にて、ソララノ家田富美子さん、ピアノ鈴木恵理子さんとお仲間たちの出演で、誰もが口ずさめる20曲余りを来場者も一緒に歌って七夕の夜に歌いました。

(まちなかアート部会)

○7月20日(土)～21日(日) 大仏フェスティバル協賛事業 子供たちへのゲーム企画
2日間ともに晴天に恵まれ、例年以上に多くの子供たちが正法寺の境内が賑わいました。ゲームの進行及び子供たちの誘導に今回から中学生がスタッフとして協力してくれました。

○10月13日(日) おんばく協賛事業

「第10回 まちなかお月見アート」

前日までの大型台風接近により開催が危ぶまれましたが、台風一過のもと、WebとFaxでの事前申込みされた35名が参加(有料)されました。

町並みへのススキの配布は多くはできませんでしたが、妙照寺と大仏殿には華久による「お月見の花生け」を展示しました。参加者たちは井の口の普段は見られない夕暮れのまちを会員らに案内され、ふくろう工房でせんざいを楽しみ、般若寺でのコンサートに足を運びました。

(まちなかアート部会)



○11月2日(日) 歴史講話会

「岐阜公園の過去、現在、未来」

妙照寺本堂に51名の参加を得て、岐阜市歴史まちづくり課の高木晃様を迎え、岐阜公園の歴史と今後の展望などをお話しいただきました。

(まちの歴史探索部会)



○12月14日(土)

まちの景観勉強会 「井の口の道路景観」
講師に岐阜大学教授高木朗義様を迎え、メインとなる道路を散策し、途中、6ポイントで検討部会から問題点、改善点等の説明を行いました。その後、正法寺庫裡にて高木先生からの講義と、参加者26名が意見交換会を行いました。

(まちの風景検討部会)



○12月17日(月)～1月8日(火)

「第10回 大仏様への年賀状」募集・受付
今年より森ビル都市企画(株)様の協力を得て、JR岐阜駅内プラテイングにも投函箱を設置。

○1月10日(金)～12日(日)「年賀状展」

画廊光芳堂にていただいた年賀状を展示。延べ172人が来場され、年賀状を投函して来場された78人に大仏殿特別拝観券を進呈しました。なお、10年にわたり画廊光芳堂様に展示会場をご提供いただきましたが、次回からは別の場所にて年賀状展を開催いたします。

(まちなかアート部会)



○1月末日 金華まちづくり協議会へ

「井の口まちづくり会ホームページ」提出
金華まちづくり協議会のHPに井の口まちづくり会の活動を掲載していただくことになりました。

(広報通信作成部会)

○2月23日(日)「第11回 井の口番席」

新型コロナウイルス感染症のニューズが出ていた寒い日ではありましたが、妙照寺本堂に68名の木戸銭を得て会場は盛況。全国から築伝大賞に参加した学生落語家7人が高座に上がりました。今回から、岐阜大学落語研究会の協力を得てまちづくり会が主体となり開催します。



○3月2日(月) 合同部会・役員会

定期総会開催に向けて、4部会の会員と役員が妙照寺会館に集まりました。

・平成31年・令和元年度役員会 計10回

・幹事会 3回開催

・その他部会 随時開催

事務局だより

●事務局長 名和 利夫
新型コロナウイルス対策により、3密の無い働き方や暮らし方への変化から、また、テレビワーク等が広がることで地方での働き方、暮らし方が進むかもしれません。そんな自粛生活の中で、金華山への登山者数は、平日でも尋常ではありませんでした。皆さん、自然と健康を求めているのです。そんな金華山に隣接する井の口地区で暮らすことは、これからのライフスタイルに即しているかもしれません。

●事務局次長 片岡 学史
興味深い記事を読んだ。コロナ自粛で在宅勤務が増えるなかで、近所の人との接点が生まれたという。自宅で過ごす時間が増え、近所で生活していくうえで必要な情報への興味が増えたのだそうだ。当会はまちづくりを通して持続可能な地域コミュニティを考える場でもある。命を奪う怖いコロナだが、これを契機に、自律的で持続的な地域をつなごうと願う。

●広報通信部会長 馬場わかよ
今年度は20年に一度の木星と土星の合(コンジャクシオン)。何が起こるか先のことばかりですが、スペイン風邪以来の恐怖が世界中を席巻しました。平成は地震や風水害に見舞われましたが、人が出かけていき声をかけ、手助けすることになり、今度は直接顔を合わせることがはばかられ、ネットやオンラインが進むことに。それでも私は、人とつながりたいと願っています。